

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 30日

事業所名 オリーブまなびの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	子どもの特性に合わせて、各部屋の人数を調整するなど行っている。	今後も環境の見直しは適宜今後も行っていく
	2	職員の配置数は適切である	80%	20%	子ども一人に対しての人員は手厚く配置されている。	職員の業務に余裕が持てるように、職員補充に今後も努めます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	階段やトイレに手すりを設置しています。	適宜見直しします
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	常勤と非常勤職員が情報共有ができるツールを導入している。	非常勤職員の意見も取り入れながら、現場がスムーズに支援を行なえるように見直しをしていきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者からのご意見を集計し、職員に周知している。	評価表だけでなく、面談の際に聞いた保護者の方のニーズも共有できるように会議内容に盛り込んでいく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	60%	20%	第三者による評価は実施していない。	今後検討が必要。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に研修を実施している。	今後は非常勤職員も含め、自主的に学びたい気持ちを育てるよう、研修の情報提供を会社で行っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	実施している。アセスメントの様式やモニタリングの分析方法の見直しを行った。	今後も現場に即した形で計画がスムーズに作成できるよう適宜見直しを行う
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	定期的に認知トレーニングのスクリーニングテストを行ない標準化されたツールを使用している。	今後も子ども達の発達が理解できるようなツールの導入を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	実施している。	非常勤も含め意見を集約できる仕組みを検討中
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	子どもの発達に合わせて、検討している	今後もチームで意見を摺合せながら、立案していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	土曜日と長期休暇はコミュニケーションや自立に向けた活動プログラムや、季節ごとにイベント行事を実施している。	今後も子どものステージや課題に応じて対応していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	長期休暇や土曜日等は集団でのイベントを実施し、平日は個別の課題とSST等の小集団活動を実施している。	平日の療育の中でもSSTなどを適宜入れるようにしていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼時に当日の流れを確認している。非常勤職員は申し送りノート等を活用しながら共有をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	翌日の朝礼時に児童の様子を共有し、振り返りを実施している。	終了時に共有できない時もあるので、引継ぎシートを見直ししたが、今後も内容のブラッシュアップしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	保護者向けの連絡帳と職員間で共有する引継ぎシートにて記録をしている。	現場の支援が円滑に進められるよう、適宜検証・改善を行っていく

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	実施している。定期的に振り返りを実施している。非常勤職員も含め、支援に関わる職員の意見を反映できるようにプロセスシートを導入した。	担当職員以外の者も共通理解ができるように、今後1カ月毎の見直しを行っていく事を検討している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%	実施している。	組合せを全職員が周知できるように、新しくなるガイドラインも理解を深めていけるように研修を行う。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児発管が参加している。	セルフプランの児童が多く、相談支援事業所との担当者会議の実施がないが、今後はセルフプランのお子様も、児童発達支援センターとも連携を図れるようにしたい。また相談支援事業所との連携も行っていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	保護者より電話やLINE等で情報共有をしている。	学校の行事の把握を今後は計画的に行っていく。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%	就学前に園へ見学へ行き情報共有させていただいた。	全てのお子様に対応できていないので、園にも働きかけていく。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	60%	40%	一般の専門学校に進学される方が多く、引継ぎが行えていない。	該当児が出た場合は、必要に応じて情報の提供を行なえるようにしていく
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%	適宜研修を受けている。	児童発達支援センターからの助言や研修を今後受けられるように連携を図っていく
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	80%	20%	放課後クラブとの交流はないが、ハロウィンイベントや人形劇等で地域交流する場を設けた。	放課後クラブ等限定的ではなく、地域資源の活用を行いながら交流できる機会を設定していく
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	参加している。	委員として今後も参加します。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	お迎え時やLINE等でお子様のご様子や気になることなどを共有させていただいている。	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	80%	20%	講演会等の案内を適宜お知らせしている。	現在ベアトレの実施がなく今後の課題とする。それに変わるもので、保護者様の子育てに有益な学習会の案内等を今後も行っていく
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	利用契約時に行っている。	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	職員間で相談事を共有し、適宜助言させていただいている。	今後も迅速な対応が図れるよう、軽微なものについても職員間で記録を残し共有していく
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80%	0%	保護者交流会を実施した。	今後も保護者様の繋がりが持てる企画を考えていきます。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情があった際は、速やかに職員間で共有し、対応している。必要に応じて行政機関にも報告をしている	今後も迅速な対応が図れるよう、軽微なものについても職員間で記録を残し共有していく
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月行事予定表を配布し、LINE等でもお知らせしている。	
	34	個人情報に十分注意している	100%	0%	外部に漏れないよう、職員間で注意喚起し、管理している	今後もSNSについての個人情報同意書を毎年取り直し、個人情報の取り扱いには十分留意していく
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80%	0%	保護者の方に分かりやすいように情報伝達のタイミングなど配慮している。	今後も利用の方に合わせた対応を行っていきます。

	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	人形劇を開催し、地域の方々にも周知させていただいた地域のボランティアの方と共同し、「絵本のひろば」を開催した。	今後も地域資源を活用しながら、地域の方を知っていただける機会を設けていきます。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	事業所内ではBCPの策定を行なっています。保護者には家庭用マニュアルを配布し周知しています	今後はBCPに基づき職員は訓練・研修を行っていく。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	災害用備品や避難経路の確認は定期的実施している。今年度は児発・放デイの児童と避難訓練を実施した。避難訓練を適宜実施している。	来年度はBCPに基づき子ども達も含め、訓練を実施します。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修を受けている。	参加ができなかった非常勤職員にも、必ず伝達研修を実施していく。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	80%	20%	現在身体拘束が必要なお子さまはいません。	必要なお子さまがないので、現在記載はしていません。必要が生じたら記載を行います。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーの有無を確認している。	食品を提供する際は改めて確認を行うようにする
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	事例があった際は、朝礼時に職員間で共有している。	虐待防止委員会で法人内の共有も深めていく